

# ORCA EVENT WATCHER (OEW)

## マニュアル

Ver. 1.5

改訂履歴		
2022年5月31日	Ver. 1.0	初版
2022年5月31日	Ver. 1.1	PUSH API インストールの記述を追加
2022年5月31日	Ver. 1.2	文言の修正
2022年6月23日	Ver. 1.3	文言の修正
2022年9月15日	Ver. 1.4	ライセンス認証とアップデートの記述を追加。
2022年9月21日	Ver. 1.5	出力文字コードの記述を追加。

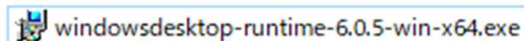
## 内容

ORCA EVENT WATCHER とは .....	3
ORCA EVENT WATCHER のインストール .....	3
PUSH API のインストール (オンプレ ORCA 使用時) .....	3
OEW の起動と終了 .....	4
起動 .....	4
ライセンス認証 .....	4
ウィンドウの表示 .....	4
終了 .....	5
初期設定 .....	6
接続設定 .....	6
出力設定 .....	8
設定のインポート・エクスポート .....	12
アップデート .....	12
アンインストール .....	13
システム・ハードウェア要件 .....	13

## ORCA EVENT WATCHER とは

ORCA EVENT WATCHER（以降、OEW と呼称）は、日医標準レセプトソフト（ORCA）の各イベント（患者登録・患者受付・診療行為）を監視し、その情報を CSV 等で出力するアプリケーションです。

## ORCA EVENT WATCHER のインストール



OEW\_vx.xx.xxxx.msi を起動し、指示に従ってインストールを行います。

OEW は、NET6.0 を使用するため、ランタイムが必要な場合は同封の「windowsdesktop-runtime-6.0.5-win-x64.exe」を先にインストールします。

## PUSH API のインストール（オンプレ ORCA 使用時）

WebORCA、日レセクラウドを使用する場合はスキップして下さい。

オンプレ ORCA 環境で OEW を使用する際、オンプレ ORCA に PUSH API をインストールする必要があります。

PUSH API は ORCA 側で何かイベントを行った際に、外部にそれを通知する仕組みです。

ORCA サーバーで以下のコマンドを実行し、jma-receipt-pusher パッケージのインストールを行います。

```
sudo apt-get install jma-receipt-pusher
```

また、ORCA サーバーと、OEW インストール端末は PUSH API のやり取りに 9400 番ポートを使用します。9400 番ポートの開放をお願いします。

## OEW の起動と終了

### 起動



デスクトップにある OEW のショートカットアイコン、もしくはスタート→プログラム一覧から OEW のアイコンをダブルクリックします。

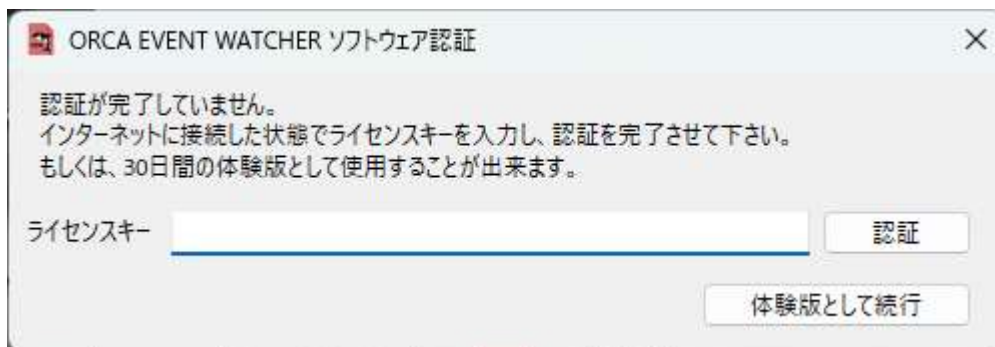
起動時、ウィンドウは表示されません。タスクトレイに格納されます。

また、設定で Windows の OS 起動時に自動的に OEW を起動するようにすることも出来ます。

### ライセンス認証

本ソフトウェアはライセンス認証を行わないと使用し続けることが出来ません。

初回起動時、以下のようなウィンドウが表示されます。



ライセンスキー：販売元から提供されたライセンスキーを入力します。

体験版として続行：30日間、体験版としてすべての機能を使用できます。

(※ライセンス認証を一度おこなうと、そのコンピューターはオフラインでも使用し続けることが出来ます。)

### ウィンドウの表示

ウィンドウを表示するには、タスクトレイのアイコンをダブルクリックするか、右クリック→表示をクリックします。

また、ウィンドウを×ボタンで閉じてもアプリケーションは終了しません。タスクトレイに戻ります。

アプリケーションを終了させるためには、次項目の「終了」の操作を行う必要があります。

## 終了

アプリケーションを終了させるには、次の2つの方法があります。

1. ウィンドウの左上の「ファイル」→「アプリケーションの終了」
2. タスクトレイのアイコンを右クリック→「アプリケーションの終了」

## 初期設定

### 接続設定

ORCA への接続設定を行います。ウィンドウを表示し、接続設定タブに移動します。

ファイル(F) ヘルプ(H)

出力設定 接続設定

ORCA種別  WebORCA  日レセクラウド  オンプレORCA

クライアント証明書 C:\¥WebORCA\demo版¥ISM病院¥client000000.p12 ...

証明書パスワード \*\*\*\*\*

APIキー 1c8e726c163b165bd1865d85919362bdc81211ea1ced01651de8cc46421a37c2

オンプレIPアドレス

ログインID ormaster

パスワード

ポート 8000

Windows起動時にシステムを起動する。

デモ版

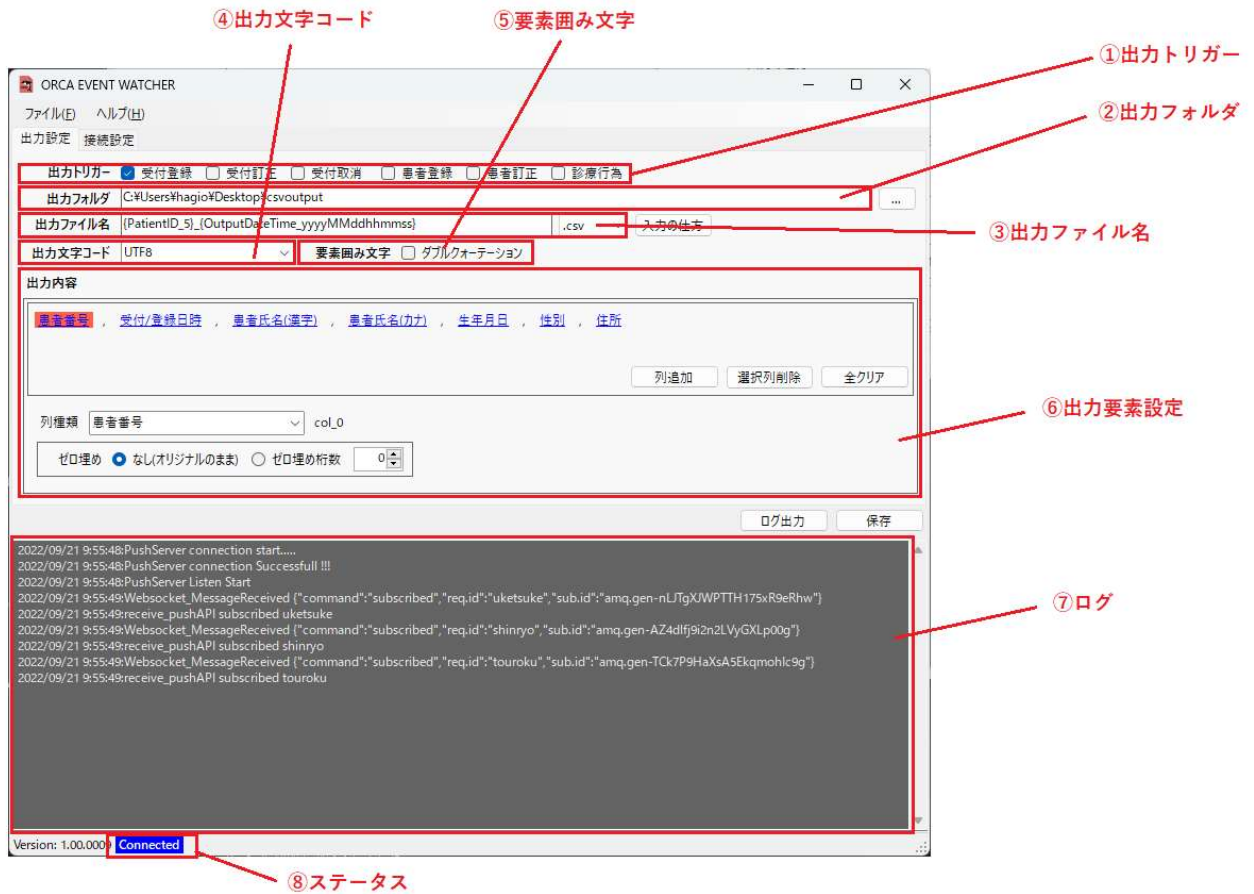
ログ出力 保存

設定名	対応 ORCA 種類	説明
ORCA 種別		イベントを監視する ORCA の種類を指定します。
クライアント証明書	WebORCA、日レセクラウド	拡張子が .p12 のクライアント証明書のパスを指定します。
証明書パスワード	WebORCA、日レセクラウド	クライアント証明書のパスワード。 .pass ファイルに記載されている。
API キー	WebORCA、日レセクラウド	ORCAMO クラウド管理画面のテナント管理にて確認できる API キー。
オンプレ IP アドレス	オンプレ ORCA	オンプレ ORCA のローカル IP アドレス。
ログイン ID	WebORCA、日レセクラウド、オンプレ ORCA	ORCA のログイン ID

パスワード	オンプレ ORCA	ORCA のログインパスワード
ポート	オンプレ ORCA	ORCAAPI のポート番号、通常は 8000 で固定
Windows 起動時にシステムを起動する	WebORCA、日レセクラウド、オンプレ ORCA	ここにチェックを入れると、OS 起動時にアプリケーションが自動起動します。
デモ版	WebORCA	WebORCA のデモ版ではここにチェックを入れないと接続出来ません。通常は OFF。

## 出力設定

ファイルの出力設定を行います。



### ① 出力トリガー

どのイベントで出力するかの設定です。

受付登録、受付訂正、受付取消、患者登録、患者訂正、診療行為から選択して下さい。（複数可）

### ② 出力フォルダ

出力するフォルダを指定します。

### ③ 出力ファイル名

出力ファイル名を設定します。



入力した文字は基本的にそのままファイル名として反映されますが、「患者 ID」と「出力日時」を動的にファイル出力時に指定出来ます。

・ 患者 ID

{PatientID\_5} で指定すると患者 ID を表示します。アンダーバーの後ろの数字は桁数を表します。

例 : (患者 ID が 123 の場合)

{PatientID\_5}.csv → 00123.csv

{PatientID\_1}.csv → 123.csv

・ 出力日時

{OutputDateTime\_yyyyMMddhhmmss} で指定すると、出力した瞬間の日時を表示します。

アンダーバーの後ろの yyyyMMddhhmmss は、年月日出分秒を表します。

例 : 2022 年 12 月 5 日 13 時 15 分 5 秒の場合

{OutputDateTime\_yyyyMMddhhmmss} → 20221205131505

{OutputDateTime\_yyyy 年 MM 月 dd 日} → 2022 年 12 月 05 日

また、出力ファイルの拡張子を csv, xls, xlsx の 3 種類から選択することが出来ます。

④ 出力文字コード

出力する CSV の文字コードを以下から選べます。

UTF8, UTF16, SHIFT-JIS, EUC-JP, JIS

⑤ 要素囲み文字

ここにチェックを入れると、ファイル内の各要素をダブルクォーテーションで囲みます。

例 :

チェックなし → 000001, 患者ハナコ, カンジャハナコ, 女

チェックあり → “000001”, “患者ハナコ”, “カンジャハナコ”, “女”

## ⑥ 出力要素設定

ファイルの中身を設定します。

- ・ 列追加：列を追加します。初期設定で患者番号が設定されます。
- ・ 選択列削除：赤く反転している選択中の列を削除します。
- ・ 全クリア：すべての列を削除します。

追加した各列をクリックすると、更に詳細な設定が可能です。

それぞれの詳細な設定は以下の通りです。

要素名	設定項目
患者番号	ゼロ埋めの設定 ・ なし（オリジナルのまま） ORCA に登録されている患者番号をそのまま表示します。 ・ ゼロ埋め桁数 患者番号を何桁で表示するかを指定出来ます。
受付/登録日時	受付/登録時間のフォーマットを年月日出分秒単位で設定出来ます。 例： yyyyMMdd hhmmss → 20220531 095511 yyyy-MM-dd hh:mm:ss → 2022-05-31 09:55:11
患者氏名（漢字）	特に設定項目なし
患者氏名（カナ）	カナ氏名の全角・半角を設定できます。 全角→ ヤマダ タロウ 半角→ ヤマダ タロウ スペースも半角になります。

生年月日	<p>受付/登録日時と同様、フォーマットを年月日単位で設定出来ます。</p> <p>例：</p> <p>yyyy-MM-dd → 1980-12-31</p> <p>yyyy 年 MM 月 dd 日 →1980 年 12 月 31 日</p>
性別	<p>男性、女性、それぞれで表示する文字列を設定できます。</p> <p>デフォルトは「男」、「女」となっていますが、自由に変更出来ます。</p>

⑦ ログ

ログを表示します。「ログ出力」ボタンを押下すると、現在表示中のログをテキストファイルとして出力することが出来ます。

⑧ ステータス

Connected： ORCA のイベントを監視しています。

Disconnected： ORCA との接続が切断されています。

最後に、右下の保存ボタンを押下し、再起動すれば設定は完了です。

## 設定のインポート・エクスポート



ウィンドウを表示し、左上の「ファイル」から現在の設定のエクスポート（吐き出し）とインポート（取り込み）が出来ます。

設定のインポートを行うと、現在の設定がすべて上書きされてしまうのでご注意ください。

## アップデート

オンラインによる自動アップデートには現在対応していないため、最新バージョンはインストーラーを配布しますので、各端末で実行する必要があります。

アップデートは上書きインストールされるため、設定が消えることはありません。

最新のアプリケーションがリリースされると、起動時に次のようなウィンドウが表示されます。



- ・ダウンロード： インストーラーをダウンロードします。
- ・閉じる： 新しいバージョンをダウンロードせずに OEW を起動します。

「このバージョンをスキップ」にチェックを入れると、このバージョンに関しては以降表示されません。

また、メインウィンドウの「ヘルプ」→「新バージョンチェック」からも同様のウィンドウを表示することが出来ます。

## アンインストール

アプリケーションを削除する際は、Windows の「設定」→「アプリ」よりアンインストールを行って下さい。

## システム・ハードウェア要件

プロセッサ	1 ギガヘルツ (GHz) 以上で 2 コア以上の 64 ビット互換プロセッサまたは System on a Chip (Soc)
RAM	4 ギガバイト (GB)
必須フレームワーク	.NET 6.0
OS	Windows10 以上